

くらし・健康まもれ 地球温暖化 対策いそげ



日本共産党は、日暮里・舎人ライナーのダイヤ改正や各駅への職員配置、駐輪場の増設など改善を求めて、都交通局との交渉や実態調査（写真）、議会質問を行い、始発時間の繰り上げやラッシュ時の増発が実現しました。

区民のねがい実現へ奮闘

日本共産党足立区議団

第二回定例議会が六月一〇日から二五日まで行われました。

日本共産党足立区議団は、くらしと健康まもれ・温暖化対策いそげの立場から区長の考えをたずねるとともに、諸物価高騰から区民のくらしをまもる施策を求め奮闘しました。

温暖化対策

「廃プラの資源化を 検討」と区答弁

地球温暖化の原因は、人間が出す温室効果ガスであり、主に石油・石炭の使用によるものです。日本共産党は本会議で、プラスチックは石油製品であり、焼却は温暖化を加速するものだと指摘。リサイクルの拡大こそ「地球にやさしいまち」になるのではないかと質問しました。

これまで区は、「現時点では焼却が最適」と答弁していましたが、今回、区は「廃プラの再資源化は、資源循環型社会を構築していくうえで不可欠なもの。今後、再資源化技術の進展や再生品の品質向上を見据えながら、廃プラの資源化を検討していく」と答弁。また区民から提出されていた陳情に、区は「廃プラスチックの資源化は必ずやる」とも述べました。

特別委員会を設置

日本共産党は、この間、温暖化防止は待ったなしの課題だと、自然エネルギーなど足立区で取り組むべき対策を総合的に提案。区議会に温暖化対策調査特別委員会も設置されました。

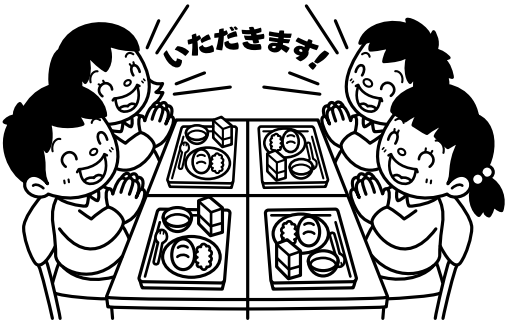
原油高騰、食料品値上げ対策

原油・原材料の高騰を受けて食品やトイレットペーパー、ガソリン等生活必需品が値上がりし、区民のくらしに大きな痛みとなっています。日本共産党は、こうした状況を示しながら区に、何らかの対応が必要ではないかと質問しました。

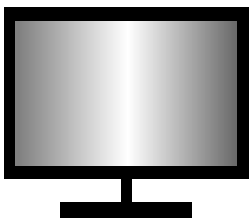
区は、諸物価の高騰で困っている区民のくらしを応援する施策は、「施策の重要度を勘案しながら個別に判断していく」と答弁しました。

学校給食に補助し値上げストップ

諸物価の高騰は学校給食にも影響。区は、小中学校給食が年間で3700万円、円余食料費が上昇するため、その分を補助し、保護者が負担する給食費の値上げを抑える補正予算を提出。全会派一致で可決しました。



地デジ対策が前進



2011年7月24日から、地上デジタルテレビ放送に完全移行になります。テレビを買い換えるかチューナーを買い足すなど大変な費用がかかります。

日本共産党は、国にアナログ放送の打ち切り延長を求めるとともに「区独自の支援が必要」とくり返し質問してきました。

今議会では「実態調査や相談窓口を開設する。低所得者対策を検討していく」と答えました。

「足立健康都市宣言」を提案

区民が健康で元気に暮せることは区の大切な仕事です。

「健康都市宣言」は世界保健機関（WHO）に位置づけられ、健康都市プログラムが策定されたり、国際的なネットワークが形成されています。

日本共産党は、足立区は健診率が低いことや、生活習慣病の罹患率が高いことを指摘しながら、区として「健康都市宣言」を行い、区民の健康を守るべきと質問しました。

区は、区民の健康づくりを進めていくと述べることに、「宣言」については今後の検討課題とすると答弁しました。

日本共産党

足立区議団ニュース

2008年第2回定例区議会報告

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 鈴木けんいち
編集責任者 伊藤和彦

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

足立区議団のホームページ <http://www.adachi-jcp.jp/>

少人数学級

日本共産党は、6月の議会でも少人数学級実施を求めて質問。区は35人学級の早期実現に向け東京都と粘り強く交渉を行っているが進展が見られないことを明らかにしながら、「近く都の教育長が代わるので、足立区の要望をあらためて伝える。また状況をみて区長からの要望も行う」と答弁しました。

また、区独自にでも実施していく姿勢を示しました。

区民サービス削つて 改革「達成」とは…

足立区の「構造改革」

区は六月に、「足立区第二次構造改革戦略行動計画」のまとめを報告し、百三十項目中八十四項目で目標を「達成」したとしています。

しかしその中身は、ぜん息や肥満などで健康を害した子どもたちが、療養しながら学んでいる健康学園の廃止。楽しみにしていたすべての

区民保養所の廃止。「子育て支援」と言いながら、子育て世帯に負担増となる保育料の大幅な値上げ、中小企業融資の縮小などが含まれています。

区民サービスを削って「改革が達成した」とは、あまりにもひどすぎます。

後期高齢者医療制度

後期高齢者医療制度が実施され二ヵ月。区民の批判はますます高まり、参議院では廃止法案が可決されました。

日本共産党区議団は、区長に対し国に改めて廃止の意思を示すよう求めました。

しかし、区長は「代案もないまま、単に制度の廃止

だけ無責任に求めるつもりはない」と区民の願いに背を向けました。

えっ、住民税も 年金から天引き?!

今議会には、地方税法改正に伴う特別区税条例改正案が提案されました。

特養ホームの増設を

特養ホームへの入所を希望しても入れない待機者は二五五四名（三月現在）います。日本共産党は特養ホームの大幅な増設が必要と質問。区は「平成二三年度の開設を用途に都市再生機構・西新井第三団地に整備計画をすすめている」と答弁しました。

介護職員確保に対策を

介護職員の不足は深刻です。

日本共産党は、区として介護職員に就労奨励金を支給することや、住宅手当、資格取得、技術向上、研修など人材確保のための支援をすべきだと質問しました。

区は「厚生労働省の動向をみる。補助は考えていない」と答弁しましたが、今議会では介護職員の待遇改善を求める「意見書」を全会派一致で採択しました。

荒川土手にさくら植樹へ



明治時代の荒川土手（郷土資料館提供）

区は六月の議会で、「荒川桜つつみモデル事業」を西新井橋から都市農業公園までの五キロの区間で計画すると報告しました。

荒川土手は昔、五色桜の名所として知られ、区民からもその復活を求める運動が起き、日本共産党も議会で要求してきました。

長年の区民の願いであった荒川土手への桜の復活が、実現にむけ動き始めました。

北千住駅東口に大学が進出

北千住駅東口の日本たばこ産業(株)(JTC)社宅跡地に東京電機大学が進出することが決まりました。

この跡地の再開発については、住民の関心も高く、多くの要望が寄せられていました。

東京電機大学は六月二四日、JTCと土地売買契約を結び、地域に根ざし、交流を図り、開かれた大学づくりを進めるとしています。

日本共産党は、区民要望、地域活性化実現の観点から議会で取り組んできました。



被災者救援募金に取り組み
渡辺やすのぶ都議と大島よしえ区議

第8回区民アンケート行っています

党区議団は、今年も議会質問や来年度予算に反映させるため区民アンケートに取り組んでいます。

ひきつづき声をお寄せください。

みなさんとともにがんばります!

区議団の役職と所属委員会は次のように決まりました

氏名・団役職		所属する委員会と役職
区議団長	鈴木けんいち	議会運営委員会 文教委員会(副委員長) 観光振興調査特別委員会
幹事長	ぬかが和子	議会運営委員会 総務委員会 温暖化対策調査特別委員会
政調委員長	針谷みきお	厚生委員会 公共施設更新・再配置調査特別委員会(副委員長)
副幹事長	大島 芳江	区民委員会 観光振興調査特別委員会
副幹事長・団ニュース編集長	伊藤 和彦	産業環境委員会 交通網・都市基盤整備調査特別委員会(副委員長)
政調委員・団ニュース編集委員	橋本ミチ子	厚生委員会 温暖化対策調査特別委員会(委員長)
政調委員・団ニュース編集委員	さとう純子	建設委員会(副委員長) 公共施設更新・再配置調査特別委員会
政調委員・団ニュース編集委員	浅子けい子	総務委員会 交通網・都市基盤整備調査特別委員会
都議会議員・都議団長	渡辺やすのぶ	